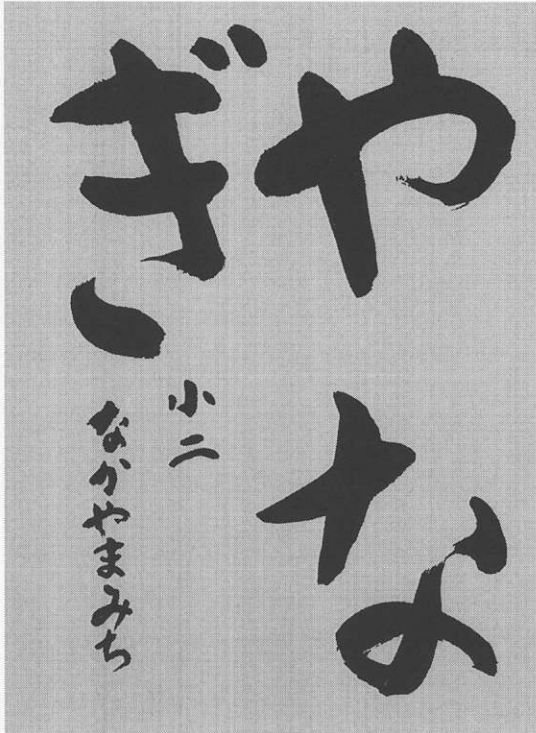


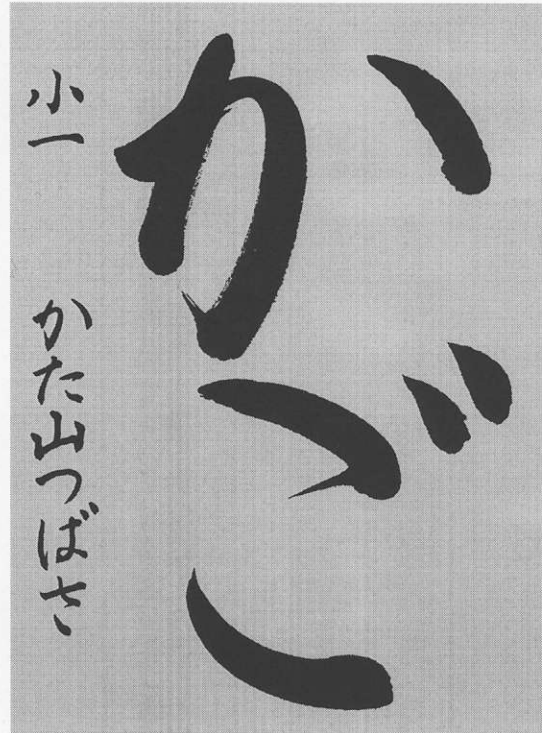
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

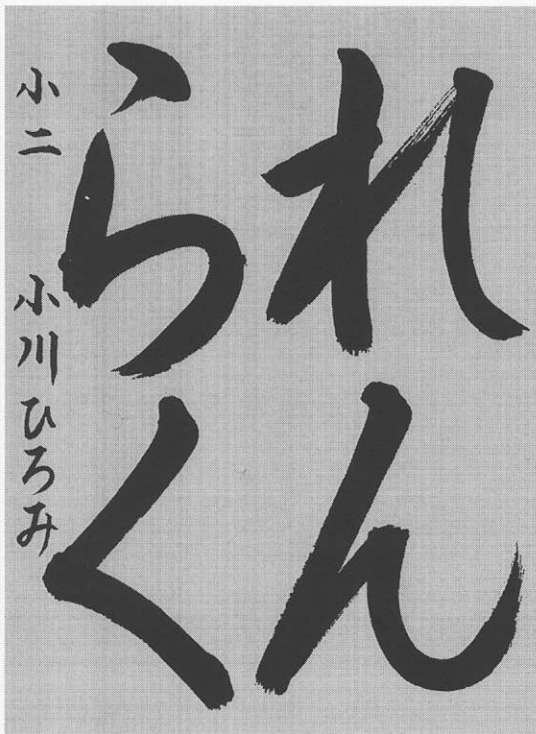
幼・小学1年参考手本



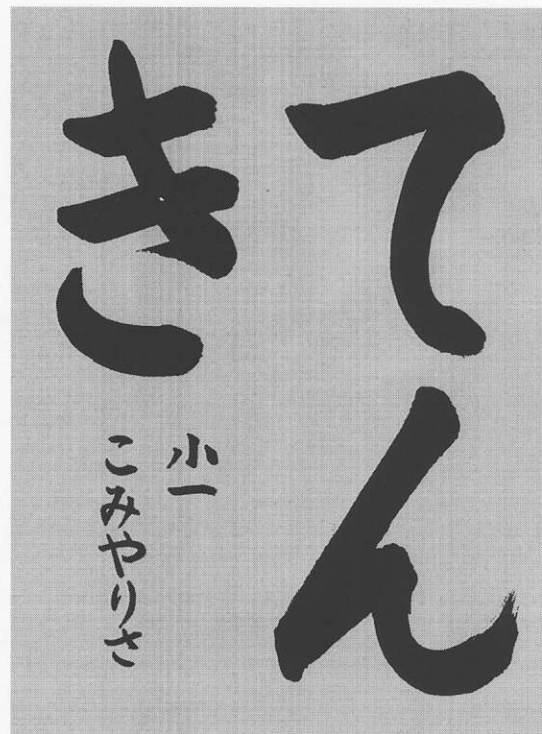
尾形鼎山先生



東原扇桜先生



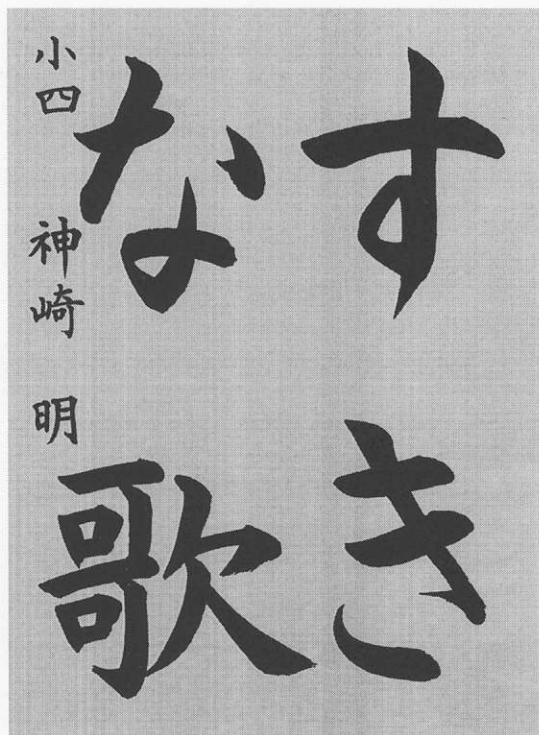
小川弘舟先生



阿部蕙芳先生

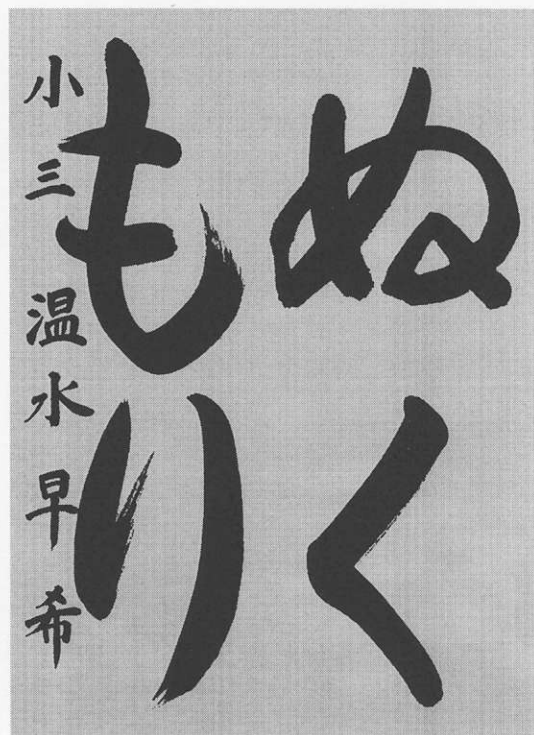
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本

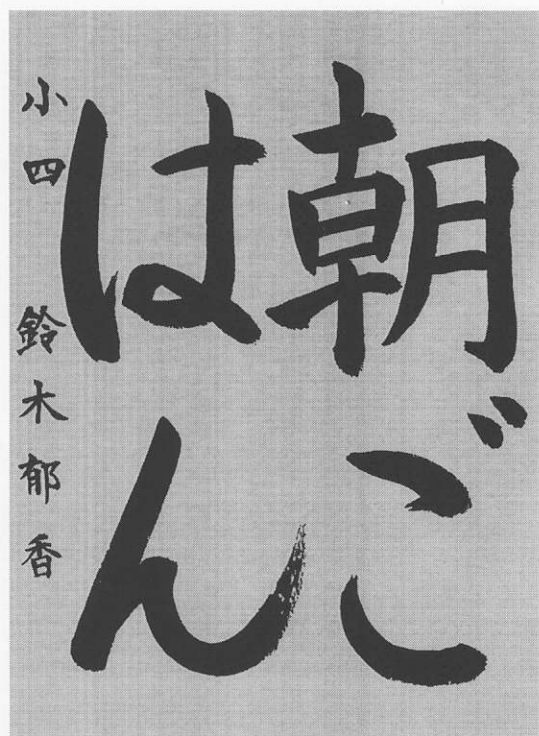


小竹石雲先生

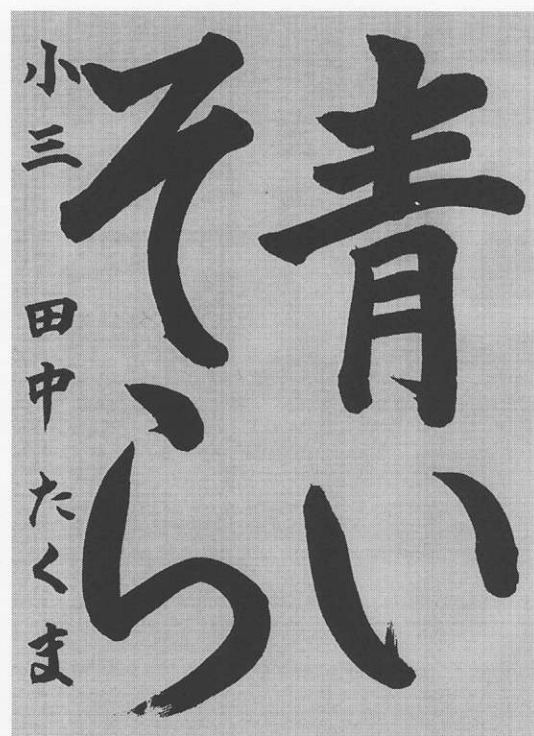
小学3年参考手本



種谷萬城先生



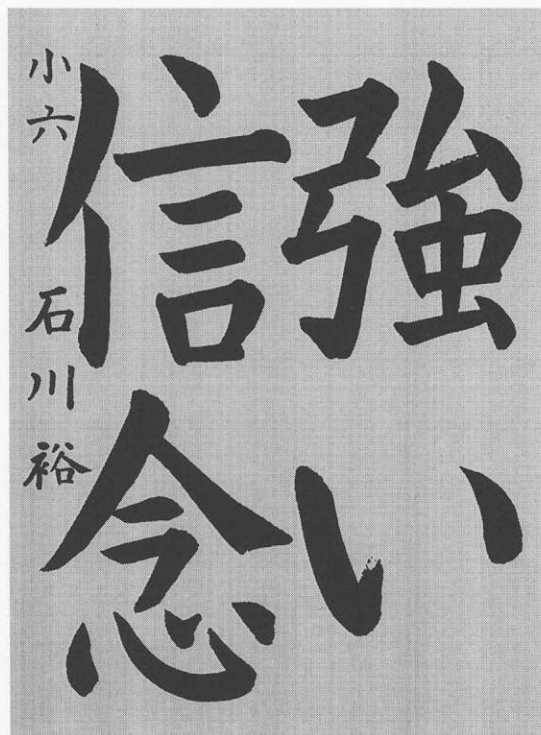
恩地春洋先生



橋本玉扇先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本

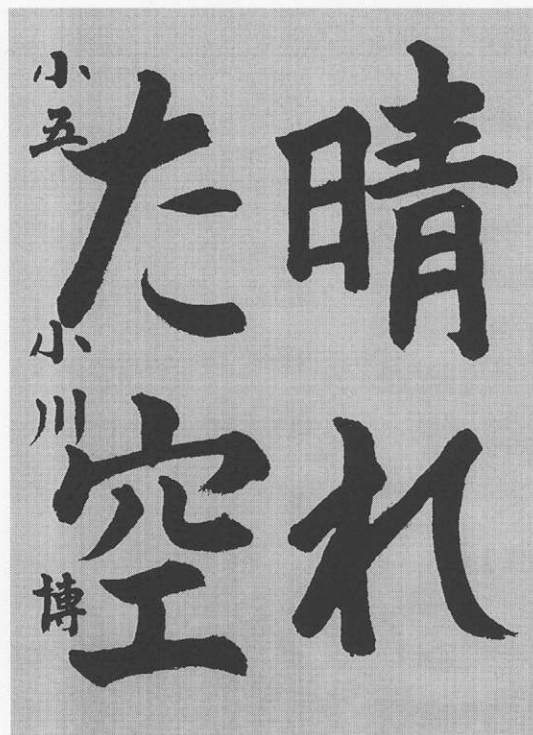


広瀬舟雲先生



飯高和子先生

小学5年参考手本



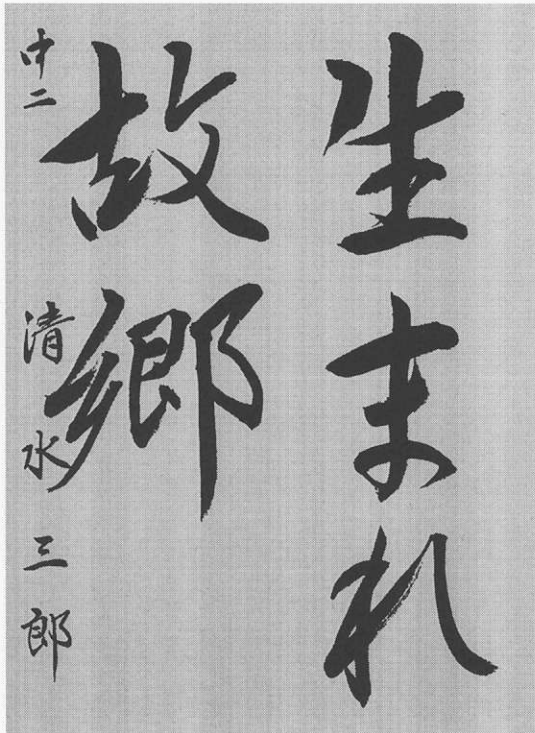
宮澤梅徑先生



板垣洞仙先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

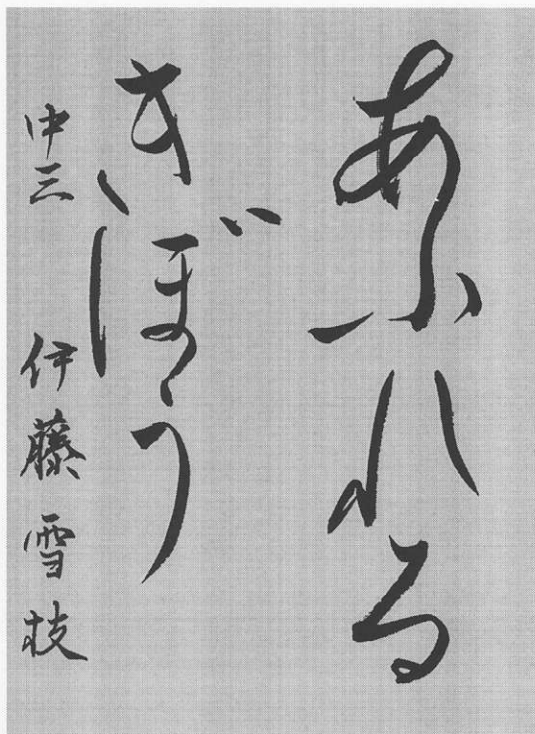
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



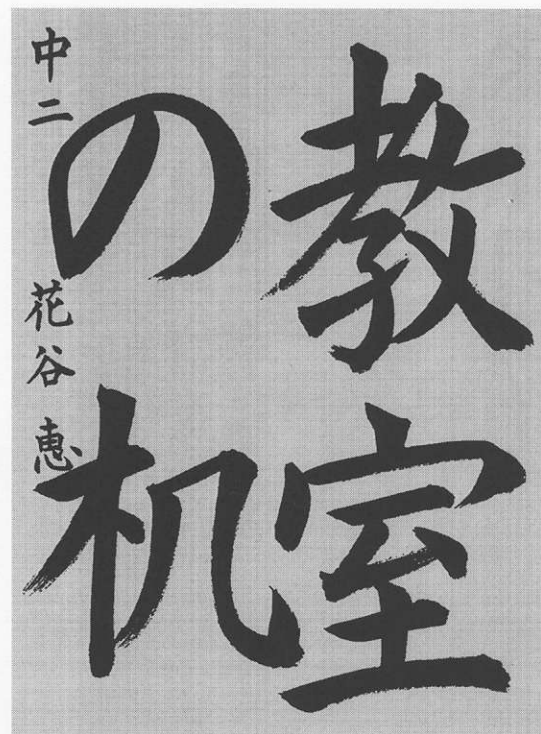
辻元大雲先生



大野祥雲先生



見越雪枝先生



稲垣小燕先生

〔3月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

支 部 名	を	土
だん・きゅう	つ	手
がくねん	み	の
一	ま	つ
なまえ	し	く
せきぐちつばせ	た。	し

硬筆参考手本

筆者 恩地春洋先生
解説

〔3月10日締切課題〕

用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

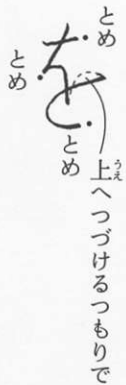
◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよろしい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の段・級位を間違いないようお願いいたします。

◎はじめて出品の方は、級位のところに「新」と記入してください。

『つくし』
「手」をただしくかきましよう。



〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支部名			
段・級			
学 年	三		
名 前	エ藤 ひな		
	い ち よ う が 来 ま し た。	病 院 の ま ど に 、 白	

支部名			
段・級			
学 年	二		
名 前	たなかあかね		
	場 を 見 学 し ま し た。	家 の 近 く に あ る 工	

中心ちゅうしん
来来
左右のはらいをのびやかに
つりあいよく。

小しょう 大だい
院院
曲がり
β (こざとへん) の筆順
ㄱ ㄷ ㄹ

病病
とめ はね とめ
广 (やまいだれ) の筆順
ㄱ ㄷ ㄹ

『白いちよう』
「とめ」「はね」「はらい」を正しく書き
ましょう。

小しょう 大だい
場場
土(つちへん)を小さく
ななめ分間の方向そろえて

近近
一度とめてはらう
しんによるのう上に
じょうずにのせる。

中心ちゅうしん
家家
中心から書いて、
中心にもどる。

『工場』
「家」の字形を正しくととのえましょう。

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支部名	話	人	
	の	た	他
段・級	発	ち	の
	表	を	学
学 年	会	招	年
五	を	待	や
名 前	開	し	地
石田裕也	こ	て	い
	う	、	き
	。	昔	の

支部名	て	へ	
	ま	の	思
段・級	と	希	い
	め	望	出
学 年	ま	を	や
四	し	、	新
名 前	よ	詩	し
片平みつこ	う	に	い
	。	書	学
		い	年

表
それぞれの「はらい」の方向と長さに注意。
短くならないように

待
点の位置に注意
「はらい」の方向に注意

招
はね
〈筆順〉
一才才招

「発表会」
組み立て方に注意して、字形を整えましょう。

中心
望
「月」をやや右にかたむける
曲がり

中心
希
長く
〈筆順〉
ノメテ希希

新
接し方に注意

「詩」
「希」「望」の字形を正しく書きましょう。

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支部名				
段・級				
学 年	中一			
名 前	池田太一			

表す「季語」を入れます。

一つの句には、ふつう一つの季節を

俳句は、季節感が大切である。

支部名				
段・級				
学 年	六			
名 前	林 利恵			

る よ う に 説 明 し た い 。

論 の 全 体 の 流 れ が 分 か

司 会 者 は 、 初 め に 討

節

点画の省略・終画は止める
「口」は少し下げる

季

大きく連筆する
中心線に気をつけて

〈簡単な行書〉

季節感が大切

【俳句】
「かな」は漢字よりも少し小さめに書き
ましょう。

討

↓
点の位置に注意

初

、
ネネネネ初

〈筆順〉

ネ(衣へん)
ネ||示(しめすへん)

中心
司

【司会者】
字形を正しく、字配りよく書きましょう。

第31回 書初め誌上展大賞作品

中三 高橋 愛美
真理

中三 高橋 愛美

中二 柿坂 陽美
志望

中二 柿坂 陽美

小六 西村 奈々
交流

小六 西村 奈々

中三 藤崎 理恵
誠実

中三 藤崎 理恵

中二 高浦 直樹
志望

中二 高浦 直樹

小六 小畑 直也
交流

小六 小畑 直也

中三 島崎 梨瑳
真理

中三 島崎 梨瑳

中二 河本 彩花
志望

中二 河本 彩花

小六 沼館 洋介
実行

小六 沼館 洋介

第31回 書初め誌上展準大賞作品



中二 坂本あかり
中二 小泉咲耶香
中二 坂下桃子

小六 川端美里
小六 本田智也
中一 矢黒紗也

小六 鈴木悠夏
小六 大関真里奈
小六 黒澤真由

小五 石川晋太郎
小六 古川祥生
小六 田中亜吏紗

小三 白石朋也
小五 嶋脇優衣
小五 宇田川春香

第31回 書初め誌上展準大賞作品



第31回「書の教室」書初め誌上展成績表

(上位入賞者)

団体賞

全国優勝

学校優勝

青森県 八戸市立小中野小学校

塾 優勝 大阪府 春洋会

全国準優勝

千葉県 正華書道教室
宮城県 三枝支局
広島県 福山塾

個人賞

大賞

八戸市立小中野小学校	六年	西村 奈々
所沢市立明峰小学校	六年	小畑 直也
八戸市立中居林小学校	六年	沼館 洋介
奈良市立京西中学校	二年	柿坂 陽美
市原市立湿津中学校	二年	高浦 直樹
倉吉市立久米中学校	二年	河本 彩花

準大賞

栗原市立金成中学校	三年	高橋 愛美
成田高等学校付属中学校	三年	藤崎 理恵
高崎市立倉賀野中学校	三年	島崎 梨瑛
八戸市立小中野小学校	三年	白石 朋也
八戸市立小中野小学校	五年	嶋脇 優衣
北栄町立北条小学校	五年	宇田川 春香
尾道市立土堂小学校	五年	石川 晋太郎
八戸市立小中野小学校	六年	古川 祥生
和泉市立緑ヶ兵小学校	六年	田中 亜吏紗
八戸市立青潮小学校	六年	鈴木 悠夏

中三 南 亜佑	中三 中 村 有沙	中三 千 葉 悠貴	中三 柴 田 緑	中三 矢 島 沙織	中三 佐 久 間 早 里	中二 越 川 実 紀	中二 八 幡 成 美	中二 松 井 望
---------	-----------	-----------	----------	-----------	--------------	------------	------------	----------

行書を学ぼう (127)

(中学生の課題より、恩地春洋先生書)

<p>教</p> <p>教</p>	<p>写</p> <p>写</p>	<p>卒</p> <p>卒</p>
<p>室</p> <p>室</p>	<p>真</p> <p>真</p>	<p>業</p> <p>業</p>

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

かなの字源を学ぼう (127)

う	ぼ	き	る	れ	ふ	あ	
字	保	幾	留	礼	不	安	源字
う	保	幾	留	礼	不	安	字形
う	保	幾	留	礼	不	安	

※字形は、平安時代の書跡から抽出した。
 上段には、源字に近い形のもの配し、
 下段には、現代の字体に近いものを配した

書写指導(小学校編)
 全国大学書写書道教育学会編より転載

出品券
 (バーコード出品券に貼付)